

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

政策体系	事務事業名	商工会運営支援事業				事業区分	新規/継続	継続	事務事業No.	040202000525
	政策体系上の位置付け					単独/補助	単独	所属課	050301	
	総合計画の施策名	0402	商工業の振興					課長名	商工観光課	
	政策名	04	活力ある産業のまちづくり					グループ	商工観光グループ	
	施策名	02	商工業の振興					担当者名		
財務会計上の位置付け					事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 単年度繰返し (平成21年度~)			
	01	07	01	02	01	00	商工振興事業			
法令根拠	桜川市補助金等交付規則				→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入					

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

手	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 桜川市商工会に対し運営助成金を支出することにより、市内の商工業者の経営の近代化等を図る。 商工会の主な活動 ・経営指導 指導員が経営に対する指導を行う。 研修会・講習会を行う。 ・金融指導 運転資金や設備資金など、利用できる低利な融資制度についての指導を行う。 ・税務、経理指導 帳簿のつけ方、決算、申告の仕方等の指導を行う。 ・労務指導 社会保険、労働保険、退職金などについて指導を行う。 ・地域振興事業 地域振興に資する事業を行う。 (市内各種イベントの参加、特産品開発支援など)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の手順】 補助金交付事務(申請受付→内容審査→補助金交付決定→補助金交付実績報告書受付) 【事業費の内訳】 補助金 10,200,000円 ■商工会指導検査(隔年) ①組織運営関係 ②業務関係 ③会計関係 ④補助金関係

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
補助金交付事務 (申請受付→内容審査→補助金交付決定→補助金交付→実績報告書受付)	経営指導の回数	回	1,300.00	1,123.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00
	講習会開催回数	回	70.00	77.00	70.00	70.00	70.00
	金融斡旋件数	件	270.00	121.00	270.00	270.00	270.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川市商工会 市内の商工業者	会員事業所数	社	1,400.00	1,336.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
商工会の運営を支援することにより市内の商工業者の経営安定化を図る。	講習会参加者数	人	1,100.00	864.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00
	貸付総額	千円	2,200,000.00	893,350.00	2,200,000.00	2,200,000.00	2,200,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(計画)			期間限定 総投入量						
								国庫支出金	千円	0	0	0	0
								県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0							
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0							
	その他	千円	0	0	0	0							
	一般財源	千円	10,000	10,200	10,200	0							
	事業費計(A)	千円	10,000	10,200	10,200	0							
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人								

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)			02年度事業費 予算(千円)		
	19 負担金補助及び交付金	10,200		19 負担金補助及び交付金	10,200	
	合計		10,200	合計		10,200

事務事業名	商工会運営支援事業	事務事業No.	40202000525	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
桜川市商工会は、平成21年5月に岩瀬商工会、大和商工会、真壁商工会が合併して設立された。それに伴い、各商工会に支出していた補助金を1本化し、現在の形での助成となった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
商工会から運営が厳しい状況にあるので補助金増額の要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 商工会の活動により、市内の商工業者が経営指導等さまざまな支援を受けることは、地域商工業者の経営基盤の強化や、商工業の振興に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 商工会の活動は商工業の振興において重要であり、営利を目的とせず、特定の個人や団体の利益のために活動しないという原則があるため、市が運営助成を行うことは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 商工業者のニーズに合った支援を行うため、市と商工会との連携の強化や講習会の見直し等により成果を向上させる余地はある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業を利用している商工業者が必要な支援を受けられなくなる可能性がある。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 補助金支払いと指導検査に費やす時間であり削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 商工会には商工業者であれば加入することができるため、受益機会は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	高齢化による廃業が増加傾向にあり、会員数が減少傾向にある。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市と商工会との連携の強化や講習会の見直し等を行う。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>